

HPVワクチン 低迷する接種率向上のための 新しい取り組みについて オンライン相談

公益社団法人 日本産婦人科医会 情報技術 (IT) 部会

平田 善康
藤井 知行
川名 敬
西 洋孝

埼玉県産婦人科医会
株式会社メドレー

1

HPVワクチンについての現状

- 令和4年4月にHPVワクチンの積極的勧奨が再開された。
- 令和4年度前半の定期接種1回目は依然約30%である。子宮頸がん罹患・死亡リスクを効果的に減少させるためには、定期接種・キャッチアップ接種ともに90%程度まで接種する必要がある。
- 医療界、行政を中心としてたくさんの情報発信が行われ、適切な理解も浸透しているが、以前としてワクチンに対して不安を持つ人も多い。
- ワクチン接種前・後に、医療機関（医師）と直接のコミュニケーションを取ることで、接種の推進や接種後の過剰な不安の払拭に重要である。
- 9価HPVワクチンの定期接種化を受けたこのタイミングに、これまで以上に患者に寄り添った体制を構築する。

2

HPVワクチン接種における医師によるコミュニケーション

医師とのコミュニケーションは「接種前相談」と「接種後フォロー」の2つに分けられる。その運用負担を少なく実施できる体制の構築が重要。

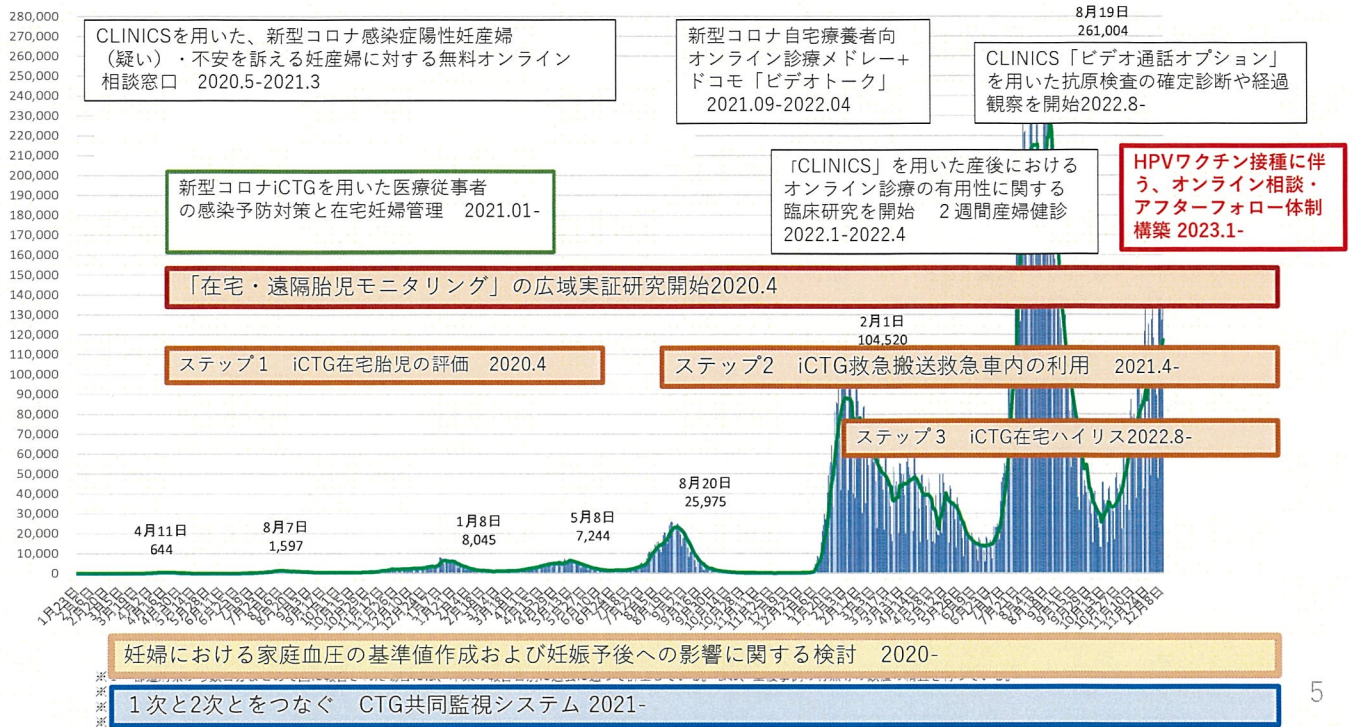
- 接種前相談： ワクチンに関して一定の情報がある人でも、いざ接種となると不安が増大する接種を実施する医師に直接相談することによって、ワクチンへの納得度を高める
- 接種後フォローアップ： ちょっとした体調不良や違和感でも、接種後、敏感になる人が多く、専門知識がないままに不安を増大させてしまうことがある。

接種後に積極的に医療側から接種者にアプローチをすることで、不安を払拭できる副反応を疑う症状が見受けられた場合には、速やかな医療的介入につながる

実証スキーム

- 概要： HPVワクチン接種前後に、産婦人科専門医であり子宮頸がんの予防に関する国際オンラインプログラムを受講、試験合格、認定書を発行された医師が、ワクチン接種者・家族の不安軽減について、オンライン相談を実施する。
- 実証期間： 2023年3月-2023年12月
- 参加医療機関： 日本産婦人科医会 情報技術（IT）部会がサポートし、埼玉県内でのパイロットスタディを開始。
埼玉県内で、趣旨に賛同する産婦人科（小児科）を中心とした有志の医療機関
- 周知方法： 対応医療機関リストを作成し、県や産婦人科医会のHPに掲載、リーフレット配布
- システム：（株）メドレーが参加医療機関に「CLINICS」を提供

日本産婦人科医会情報技術（IT）部会 遠隔医療プロジェクトにおける実証研究と新型コロナウイルス感染症の国内発生動向



オンライン診療システムの機能の例

① 予約時にEPDSに回答する

EPDS問診票



診察予約・管理

医療機関が設定した予約枠に対して患者がオンラインで予約。患者ごとにオンライン診療の予約の可否を設定することや、対面診療の予約管理に活用することも可能



オンライン事前問診

診療内容に応じた問診票を設定。患者はスマートフォンやパソコンから事前に問診票を入力し、医師はその内容を事前に確認することが可能



ビデオ通話による診察

ビデオチャットで適切な診察をサポート。ビデオ通話中に患者とテキストチャットを行ったり、問診票を呼び出して確認したりすることも可能



クレジットカード決済

診察料金は患者があらかじめ登録したクレジットカードにチャージされるため、キャッシュレスで会計が完了

電話相談より顔の表情が確認できるビデオ通話が優れている
対応する医師・助産師等も、感染を予防できる



現在の気分についてお聞かせ下さい。
今日だけでなく、過去7日間にあなたが感じたことに最も近い答えに○をつけてください。必ず10項目全部に答えて下さい。

- 笑うことができたし、物事のおもしろい面もわかった。
()いつもと同様にできた。
()あまりできなかった。
()明らかにできなかった。
()全くなかった。
- 物事を楽しみにして待った。
()いつもと同様にできた。
()あまりできなかった。
()明らかにできなかった。
()ほとんどできなかった。
- 物事がうまくいかない時、自分を不必要に責めた。
()はい、たいそうだった。
()はい、時々あった。
()いいえ、あまり度々ではなかった。
()いいえ、全くなかった。
- はっきりした理由もないのに不安になったり、心配したりした。
()はい、時々あった。
()はい、時々あった。
()いいえ、めったになかった。
()いいえ、全くなかった。
- はっきりした理由もないのに恐怖に悩まされた。
()はい、しょっちゅうあった。
()はい、時々あった。
()いいえ、めったになかった。
()いいえ、全くなかった。
- することがたくさんあって大変だった。
()はい、たいそうだった。
()はい、いつものようにはうまく対処できなかった。
()いいえ、たいそううまく対処した。
()いいえ、普段通りに対処した。
- 不幸せな気分なので、眠りにくかった。
()はい、ほとんどいつもそうだった。
()はい、時々そうだった。
()いいえ、あまり度々ではなかった。
()いいえ、全くなかった。
- 悲しくなったり、みじめになったりした。
()はい、たいそうだった。
()はい、かなりしばしばそうだった。
()いいえ、あまり度々ではなかった。
()いいえ、全くそうではなかった。
- 不幸せな気分だったので、泣いていた。
()はい、たいそうだった。
()はい、かなりしばしばそうだった。
()いいえ、あまり度々ではなかった。
()いいえ、全くなかった。
- 自分自身を傷つけるという考えが浮かんで来た。
()はい、かなりしばしばそうだった。
()時々そうだった。
()めったになかった。
()全くなかった。

[Cox R(1987), 岡野ら(1996)による日本語版]
[出典産後の母親と家族のメンタルヘルス 吉田敬子他著]

CLINICS上の設定内容 全医療機関共通

- ・希望者は、2ヶ月前～3日前の期間で希望する医療機関の予約が可能。
- ・予約時に以下の問診に回答。

1. 今回の相談はどちらに該当しますか？

- HPVワクチン接種前の相談
- HPVワクチン接種後の相談

(接種後の相談と回答した方のみ)

2. 接種したワクチンについて教えてください。

- サーバリックス(2価HPVワクチン) 接種日
- ガーダシル(4価HPVワクチン) 接種日
- シルガード9(9価HPVワクチン) 接種日

3. 相談したい内容を教えてください。

- HPVウイルスについて
- 子宮頸がんについて
- HPVワクチンの効果について
- HPVワクチンの副反応について
- HPVウイルスと支援体制について
- その他(具体的に)

相談後のアンケート

CLINICSのメッセージ機能を用いて、Googleフォームで作成したアンケートを送付。

電話相談より顔の表情が確認できるビデオ通話が優れている

7

埼玉県知事 大野 元裕殿

令和4年10月20日

埼玉県産婦人科医会

会長 平田 善康
がん対策部 担当理事 高野 政志

- ・ HPVワクチン接種推進に向けて、小・中・高のがん教育の推進と包括的性教育の出前授業に対する県産婦人科医会との協働事業推進のための協議会設置と助成について。
- ・ HPVワクチン接種に伴う、オンラインを活用した相談・アフターフォロー体制システム構築のための助成と質の高い相談員教育のための研修費の助成について。
- ・ 県内接種対象者の年代に届くような情報提供としてSNS等を利用した情報提供のための資料・動画作成と発信についての助成について。

8